

母子家庭の生活支援、居住支援の情報提供のためのガイドライン作成 (ひとり親家庭を対象とした生活支援と居住支援ガイドライン化事業)

● 事業の目的

- 不動産事業者、空き家所有者を対象とした母子家庭居住支援の情報、ノウハウの提供を目的とした生活支援、居住支援のためのガイドライン作成

● 活動エリア

- 東京都

● 協議会の構成団体、連携先団体

- NPO法人リトルワNZ、杉並区、NPO法人CBすぎなみ、杉並区スクールソーシャルワーカー、株式会社エイブルホーム、株式会社J&K、(公社)全日本不動産協会杉並支部、(公社)全国宅地建物取引業協会杉並支部、物件オーナー

● 実施内容

- 母子家庭に生活支援と共に住居を提供するモデルの整理、ガイドライン化
- 不動産業者、物件オーナーの具体的な空き家活用方法の提案
- 地域内オーナーの確保と相談会

● 構成団体等の役割分担

- 事業の企画、実施:NPO法人リトルワNZ
- 情報提供、周知協力:上記以外の団体

● 事業内容の特徴、成果、課題等

- 特徴: 空き家を利活用し母子家庭に生活支援と共に住居を提供するモデルを整理し、「住宅確保要配慮者の居住支援の充実にに向けたガイドブック」を参考に「母子家庭の現状」、「居住支援の基本」、「不動産業者が気を付けること」、「不動産業者からの意見」、「研究者からの意見」からまとめたガイドラインを作成
- 成果①: 高円寺にて3月竣工を目指し空き家をシェアハウスとして改修中。
- 成果②: セミナーを2回開催(参加者:18名、24名)し不動産事業者に出来ること、出来ないことの役割分担を明確化し、オーナーの安心感を醸成。(自治体:居住支援、不動産事業者:契約関連、居住支援法人:生活の支援)
- 成果③: セミナーを通じて商店会+町会の空き家対策へ波及するなど副次的効果を生むなど活動エリアの空き家への意識が向上。
- 今後の方向性(課題): 他エリアへ横展開を図るため、不動産団体に向けた勉強会を実施するとともに、母子家庭以外の要配慮者支援にもつなげる。

セミナーの様子

